

## 火山弾

宮坂 静生

東美ヶ原 旧武石村

長い八月ごろごろと火山弾  
猫じやらし実のかちかちよ貧窮へ  
世が崩れ出す純白の草茸

松本の盆

青山さま杉葉鎮めの摩羅崇め  
葡萄樹海あまたの土偶地に眠る  
蕎麦の芽の河童のごとく頭を揃へ

京都迎賓館

山古志の色鯉もいま御所の数寄

宮崎へ

檳榔樹は象の行進台風過  
兜太亡し九月の海のけものごゑ  
父殺め母葬りし花カンナ  
秋の昼樗木が宙を突き破り  
新豆腐老子ねばねば莊子ねばねば

古畑恒雄さん 第九回作田明賞受賞

毬栗や非行少年への慈愛

